

「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび 2021」にご協力頂き、ありがとうございます。
さて、前号では、事業を実施する際のポイントをご紹介します。

今号は、実際にそのポイントを活かして展開されていた、岡山連盟西大寺第1団の事業「親子でハイキング」の視察レポートをお届けします。

岡山連盟西大寺第1団

「ボーイスカウトとあそぼう！ワクワク自然体験あそび ～親子でハイキング～」

日時：令和3年11月14日(日) 9:00～11:00

会場：操山公園里山センター

参加者数：26名(年中～小3)

内容：ビーバー年代 ミニハイキングとクラフト
カブ年代 ハイキング

部門別体験プログラム

全体として一つのプログラムを提供する体験活動が多い中、西大寺第1団では、部門ごとに自然体験プログラムを提供していました。ビーバー部門はミニハイキングと自然物を使ったクラフト。カブ部門はハイキング。途中、方位・計測を使った課題などに挑戦しました。

どちらも原隊の隊集会として展開されているため、体験参加者には日ごろの活動を体験してもらうことができる内容になっていました。



ボーイ・ベンチャー・ローバースカウトの活躍

全体を通じて、スタッフとして奉仕するボーイ隊以上のスカウトたちの姿が印象的でした。

受付では検温をボーイスカウトが担当。開会までの待ち時間もスカウトたちがゲームをして参加者を和ませていました。開閉会の進行はローバースカウト。ハイキング途中のチェックポイントを担当もスカウトたち。体験参加

の保護者に、ボーイスカウトで成長した子どもの姿を見せることに成功していました。



体験のお子さんはスカウトと一緒に

体験活動によっては、体験参加者同士でグループになって活動するケースもありますが、西大寺第1団のカブ部門のプログラムでは、体験参加のお子さんたちはカブスカウトの組に入って活動し、保護者はその後ろから付いて行く形をとっていました。これにより、体験のお子さんとスカウトたちが自然と交流し、組長がやさしく教える場面も見られました。

また、保護者にとっては、ほどよい距離からお子さんの様子や活動の内容を見ることができると同時に、

最後尾に付いていたデンリーダーや他の保護者と自然と会話が生まれ、大人同士のコミュニケーションも図れるというメリットも感じられました。



体験後のアフターフォローで入団につなげる

体験活動の後、閉会までの時間を利用して、体験活動の感想や今後の案内希望などを尋ねる保護者アンケートを実施していました。また、事業終了後、来場者にお礼とともに今後の集会を案内するメールを送り、入団につなげる工夫をされていました。

西大寺第1団の「ワクワク自然体験あそび」は、通常の隊集会に体験活動をうまく組み合わせて展開されていました。運営側としては準備の負担が少なく、体験参加者にはスカウティングのエッセンスをしっかりと感じてもらえる、効果的な手法です。

みなさんの団でも、既に計画されている隊集会をそのまま「ワクワク自然体験あそび」として、展開されてみてはいかがでしょうか。

これまでの参加申込み状況から

<参加申込みの際によくある質問>

- ・参加者の弟、妹(幼児)を同伴してもよいですか。
- ・子どもだけで参加してよいですか。

このような点について、各団のチラシに対応を記載していただくとよいと思います。

<定員オーバーが顕著な例>

「地区」「県連盟」単位で実施の事業は、かなり定員をオーバーしています。これは、分母が広域になることでやむを得ないと思われませんが、そのことを想定してした事業規模や体制を組んでいないと対応が難しくなりますので、ご注意ください。

<チラシ配布から応募まで>

十分な分析はできていませんが、印象として、チラシを配布した当日にある程度反応があり、3~5日で落ち着くというケースが多いです。理想的なのは、月曜日か火曜日に学校でチラシを配布すると、金曜日までに定員が埋まるといったところです。学校で児童での話題になるのは同じ週だと思われるので、チラシを配布するのは週末より週明けの方が、効率が良いと思われます。

ただ、チラシ効果が落ち着いた翌週頃から口コミ効果が起こるケースがあります。この場合は募集停止をしても申し込みが起っています。

このような場合の対処としては、事業担当者から参加決定者に対して、「参加申込み締切」であることをお伝えし、もし周囲で事業に参加したいというご相談があった場合は、申込み締切である旨をお伝えいただくようご協力をお願いすることをお勧めしています。

令和3年12月24日現在の会場登録数など

30県連盟から259 会場の登録があり
(最多は愛知連盟の74会場、次いで神奈川連盟の31会場)、158会場で3644 人の参加申込みがありました。